

九州ネット



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿児島開催（鹿児島黒豚ラウンド） 令和3年7月18日（土）Web開催

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを間近に控えた 7 月 18 日（土）、黒豚ラウンドが Web 形式で開催されました。鹿児島も梅雨が明け、連日暑い日となっておりますが、暑さに負けず、また、多くの学校で 1 学期が終わろうとするこの多忙な時期にもかかわらず、今回も全国各地から 29 名の皆様に参加していただき、大盛況の研究会となりました。

1 トピックス：「指導と評価の一体化のための学習評価」とは？

桐蔭横浜大学佐藤先生から「学習評価」の理論と実際について紹介していただきました。学習指導要領や教育評価の思想の変遷や育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に加え、実際に評価する際のプロセスについて、改めて確認することができました。



今回は、佐藤先生のお話の後、小グループに分かれて学習評価について意見を交流する場が特設されました。参加者それぞれの立場から、現状や手立て、また、疑問に思っていること等について活発な意見が出され、それを全体で共有することで、新たな考えや次の手立てのヒントを得ることができる貴重な時間となりました。

2 グループワーク：「体育・保健体育の授業について（小・中・高）」

今回は、10月に本県で開催予定の第60回九州地区学校体育研究発表大会の授業者（小・中・高）を中心に、それぞれの校種に分かれてグループワークを行いました。

ラウンド前日の事前授業を受けて、授業者から3つの視点（①「わかる」と「できる」をつなぐ学習指導の工夫 ②学び合いの工夫 ③教材の工夫）での振り返りや今後に向けての課題について問題提起があり、その解決に向けてグループごとに話し合いました。最後にそれぞれのグループで考えた内容を共有することで、新たな気付きもあり、授業者の先生方も大変喜んでおられました。



3 おわりに

今回の鹿児島黒豚ラウンドでは、佐藤先生をはじめ大学関係の先生方、小・中・高等学校の先生方、教育委員会関係の先生方、大学院生等、計 27 人が県内外から一堂に会して、小・中・高の系統性を踏まえた指導について考え、語り合い、多くのことを学ぶことができたのではないかと思います。学校種や職種の枠を超えて、体育・保健体育のことについて語り合える本研究会のすばらしさを改めて感じました。

最後になりますが、御多用にも関わらず、御指導くださいました佐藤先生、準備等でお世話になりました梶先生をはじめ、遠方から web で参加してくださった先生方、参加してくださったすべての先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（報告者：鹿児島県教育庁保健体育課 中野）